

愛寿会 たより

11 月号
第 113 号
平成 20 年
11 月 1 日発行



【 山で見つけた天然の「クリタケ」 】

※ 本誌は、愛寿会ホームページに掲載しておりますので、ご覧下さい。

愛寿会広報誌に寄せて

かつて国の社会福祉予算に関しては聖域と言われ、福祉予算も充実していたと感じることが最近では多くなってきました。それと同時に当時の老人福祉施設の活動を振り返ってみますと、山梨県老人福祉施設協議会においては「指導員部会」「事務職員部会」などの活動が活発で、各施設の良いところを吸収し合いながら、施設間同士が互いに切磋琢磨し「山梨県の老人福祉」を少しでも向上させようという意気込みが職員の方から強く感じられました。

しかしながら、平成十二年四月には介護保険制度、さらには平成十八年四月には障害者自立支援法が制定されたことにより、国民の義務としての介護保険料の支払いや福祉サービスの利用負担などの仕組みが導入されることとなり、社会福祉施設にとっては大きな転換期の時代を迎えることになりました。

こうした社会福祉情勢の変革のなか、社会福祉施設の連携や施設職員間の人間関係が希薄化してしまっただけでなく、昨今は少し寂しい思いをしています。「山梨県内の老人福祉の向上」と言った大きなテーマに向けての意気込みが薄らいでしまい、「利用者と施設」「施設自身の経営」と言った施設自身の内容に目標が集約され

山梨県社会福祉協議会

総務課長 小尾 俊二

てしまい、山梨の老人福祉と言った大きな目標が失われてしまったのではないかと少し憂慮しています。

さらに、高齢者や障害者の施設づくりの福祉観においては地殻変動が起こり「地域密着」「小規模」「多機能」と言った小さいことは良いことというような合言葉が生まれてきました。大きな施設をこぢんまりとした生活単位に分けたユニットケア運動の広がりから、福祉観を変えていこうという一つの流れであったと考えられます。福祉は科学ではなく、知恵であり、文化であり、想像力であるとともに、現場から直接学ぶと言う発想が今でも一番重要なことだと考えています。

県社会福祉協議会としては、引き続き住民の支え合い意識の醸成と住民主体の支え合い運動を展開していくとともに、昨今の福祉現場における人材不足に対応していくため福祉人材センターを中心とした福祉人材の市場調査を通じて社会福祉施設への人材支援をバックアップして行きたいと考えています。

社会福祉法人愛寿会「二つの目標」と「介護・七つの誓い」を職員全員がより一層実践しながら、県土八ヶ岳南麓地域の福祉拠点としての「福祉総合生活支援センター」が今後とも益々活躍していくとともに、清水施設長をはじめとする職員の今後の活躍を心から期待申し上げます。

料金後納郵便

冊子小包

差出人(差出送代行)

7-4

佐川物流サービス(株)

返送先: 〒140-0012

品川区勝島 1-1-1

このお荷物にご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行いたします。

グループホームやすらぎ

外部評価

九月十一日、山梨県社会福祉協議会によるグループホーム「やすらぎ」の外部評価が行なわれました。

その評価が届きましたので報告いたします。

このグループホームは、地域の中で長く歴史を持つ社会福祉法人施設の併設として、介護に対する高い理想をさらに実現していこうというねらいのもと開設され、五年を経過している。ホームの設備は清潔で広くゆとりがあり、職員も全員常勤体制で、手厚い介護が行われている。利用者全員が集い、月に一回開かれる「井戸端会」では、利用者の意見が活発に出されており、利用者の意向を汲み取ったサービスに活かされている。また、月に一度、家族に送られる請求書やホーム便りには、一人ひとりの様子が丁寧に書き記された手書きの手紙が必ず添えられており、家族の信頼を得ている。地域の福祉拠点として今後も期待される施設である。

改善課題

外部評価の結果は、必ず運営推進会議の場で、議題として話し合いを行っている。

前回課題として残った、市町村との連携の項目と事業所の多機能性の項目についても検討し柔軟性を持った対応をしていくことが確認されている。

自己評価

自己評価はミーティングで話し合い、職員の見取り入れながらリーダーが行っている。外部からの評価を受けることで、日ごろのサービスを振り返る、よい機会と捉えている。

運営推進会議

二か月に一度開催し、行事予定や活動報告を主に議題としている。外部評価結果を受け、改善点などについて検討してもらい、サービスの向上につなげている。

家族への報告

月に一度、通信と共に職員から家族に向けて手紙を送っている。行事の様子や日ごろの細かい体調について丁寧に書かれており、職員の努力が伺える。家族会はないが、年に四回ほど行う行事に家族も多数参加されるため、家族間の交流が行われている。面会の際に話しやすい雰囲気作りを努め、家族の要望を聞き取るようにしている。

日常生活における地域との連携

近隣の住民には、野菜をいただくなど日常的に交流がある。保育所や学校等と行事を通して、交流を盛んに行っている。手作りの品を保育所の運動会のおみやげに使っている。

また、地域の文化祭に作品を出品したり、お祭りに参加したりしている。

感謝状

全国老人福祉施設協議会より、永年にわたり福祉に貢献された二人の職員が表彰されました。



「こあらま」お茶の間会

十月十七日(金)、生活支援ハウス「こあらま」にてお茶の間会が行なわれました。小澤理事長を囲んで、日常生活の相談、食事・行事について等、意見が取り交わされました。



【 お茶の間会の様子 】

〽 白州中学校 〽

十月二日(木)、白州中学校の一年生四十三名が来園されました。

「舟歌」の合唱につづき「もみじ」「たきび」など昔なつかしい歌を入所者のみな様と一緒に歌った後、各グループに分かれの紙芝居やゲームの数々、みな様の気持ちに参加された方々の笑顔や笑い声で伝わってきました。

最後に車椅子の誘導も体験していただき、楽しい時間を過ごすことができました。

また、みな様から頂きました手作りの作品は、これからのレク活動に大切に使用させていただきます。

〽 小泉小学校 〽

十月九日(木)、地元 小泉小学校の慰問がありました。

合唱や寸劇、組体操に踊りなど元気に披露して頂き、楽しい秋の一時を過ごしました。合唱では、一生懸命歌う児童のみな様の姿を拝見し、日頃とは違う優しい声に入所者のみな様も笑顔が絶えませんでした。

また、寸劇の百太郎や踊りでは、知らぬ間に身体が前に乗り出し見入ったり、リズムをとったりする姿も入所者の中にみられ、和やかな雰囲気の中、交流会は盛り上がりを見せていました。

〽 帝京高校 〽

「本日、みな様の来園で利用者の方々がかつと楽しんで下さるものと期待しております」という園長の言葉に三十六名の生徒さんは気合いが入りました。

ハンドベルの演奏、紙芝居、歌、そして初めて目にする迫力ある躰道、女子生徒によるフラダンスショー等盛りだくさんのメニューに会場からは割れんばかりの拍手がおこりました。感動をありがとうございました。



【 小泉小学校 たて笛による演奏 】



【 白州中学校 手作りの紙芝居 】



【 帝京高校 華やかな衣装でフラダンス 】

〽 日本アーツオブビューティ 〽

毎月の行事となっている「おめかしの日」に自衛隊の音楽会でもお世話になったアルソ化粧品品の専門学校「アーツオブビューティ」の学生さん十三名が実習を兼ねて参加してくれました。プロにしてもらおうお化粧品も好評ですが、それ以上に皆さんが楽しみにしているのがハンドマッサージです。学生さんにマッサージをしてもらいながらの会話や笑顔を見ることが良い刺激となつて、若やいだ雰囲気があふれていました。



【 お化粧品と心地よいハンドマッサージ 】



自衛隊音楽会

十月四日、アルソア野外劇場にて自衛隊の音楽会があり、入所者と職員で行ってきました。好天に恵まれた青空の下、色付きはじめた紅葉広々と生いしげった芝生の上で、澄んだ自然の空気を吸いながら心に響く素晴らしい演奏に酔いしれました。演奏に合わせリズム感良く打つ手拍子も青空に響きわたりました。

自衛隊の方々の迫力ある演奏と歌にパワーを頂き、帰りの車中での入所者の方々の表情は満足感あふれ生き生きとして見えました。



法話

養福寺 北村住職・永明院 河内住職
による法話

家族のみな様へお願い

ご登録いただいた緊急連絡先または介護・医療保険証等に変更・更新がある場合には、ご利用のサービス担当者までご連絡のうえご提出ください。

防災訓練

十月十日（金）、実践的な総合防災訓練を実施いたしました。今回の訓練では、非常通報訓練、初期消火訓練、避難誘導訓練、消火器を使った初期消火訓練と応急救護訓練を行いました。訓練に参加した職員は、改めて避難の大変さを実感したのではないのでしょうか。この訓練で得た緊張感をいつまでも忘れずに、自衛消防隊の役割をしっかりと認識し、消火設備の使用方法、応急救護の方法の習得など、今後の活動に繋げていきたいと思えます。



【 防災訓練の様子 】

後援会入会の方々

（九月二十四日～十月二十三日）

〇三枝 恵子様

後援会にご加入いただきましたみな様に厚く御礼申し上げます。

八月号掲載 清水勝男様のお名前に誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。

ご芳情（十月一日～十月三十一日）

- ・レクボランティアほがらかグループ 様
- ・レクボランティアゆずこの会 様
- ・北杜市 山鳩の会 様
- ・北杜市 保坂多枝子 様
- ・北杜市 小野寺毅 様
- ・北杜市 山坂富彦 様
- ・北杜市 実相寺 様

利用者状況（十月末現在）

特別養護老人ホーム	一三二名
ショートステイセンター	十二・七二名
デイサービスセンター	四十名
グループホームやすらぎ	九名
生活支援ハウスこあらま	九名
第二仁生園	三十名

愛寿会のサービスに何かご意見、ご要望などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話 0551-32-3340